

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策Ⅱ-1-2 消防防災対策の推進
---------	-------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	地域福祉課長 石橋 達也	電話番号	0852-22-5349
----------	--------------	------	--------------

事務事業の名称	災害福祉広域支援ネットワーク体制整備事業		
目的	(1) 対象	災害発生時に福祉的支援の配慮が必要な県民	
	(2) 意図	災害時に要配慮者に対して緊急的な支援が適切に行えるよう、県をはじめとする関係機関・団体等の広域的な福祉支援ネットワークの構築及び連携を図る。	
事業概要	災害発生時に避難所等で福祉的支援活動を行う福祉専門職を派遣するために、関係機関・団体によるネットワークの設置・運営、救援体制の検討・構築に取り組んでいる島根県社会福祉協議会に対して補助する。		

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			式・定義	災害福祉広域支援ネットワークへの参画団体数	0.00	0.00	0.00	
指標名	式・定義	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
式・定義	達成率	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
式・定義	達成率	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
式・定義	達成率	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	1,500	1,500
うち一般財源(千円)	0	0

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

○福祉救援体制整備に係る検討委員会（構成員：社会福祉団体10、災害支援団体1、県1）での5回の検討を経て、災害福祉広域支援ネットワーク（以下「支援ネット」という）の設置要綱案、運営要領案について承認を得た。（平成27年2月）
 ○事業に対する市町村の理解を得るために、次の取組を行った。
 ・市長会、町村会において、市町村長への事業説明を行った。（平成27年2月）
 ・市町村の担当課へ情報提供を行い、担当者名簿を作成した。（平成27年3月）

6. 成果があったこと（改善されたこと）

・支援ネットに参画予定の社会福祉団体には、災害時の福祉専門職派遣及びネットワーク設置への共通理解が得られた。
 ・市町村に対して、事業の概要について情報提供ができた。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

- ①困っている「状況」
- 支援ネットへの参画に承諾が得られていない社会福祉団体がある。
 - 福祉専門職の派遣を要請する立場となる市町村の合意が得られていない。
- ②困っている状況が発生している「原因」
- 社会福祉団体における組織決定に時間を要する。
 - 市町村の理解を得るための説明が不十分である。
- ③原因を解消するための「課題」
- 社会福祉団体への説明及び参画への呼びかけを行い、早期に承諾を得る必要がある。
 - 市町村に対して具体的な事業内容の説明を行い、市町村の立場と役割への理解を得る必要がある。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

○参画が未承諾の社会福祉団体の役員会等において、支援ネットへの参画に理解を求めるとともに、市町村向けの説明会を開催し、市町村の立場と役割への理解を得る。
 ○社会福祉団体の承諾と市町村の合意形成を基に、支援ネット・市町村・県の間で福祉専門職派遣に係る協定を締結する。
 ○福祉的支援活動のマニュアルを作成し、福祉専門職に対する研修を実施する。

◎課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）